進路だより

令和２年１０月１日（木）　進路指導部

キャリアパスポート　～学期目標編～

10 月に入り、いよいよ**2学期**も中盤戦に差し掛かろうとしております。学習面では**中間考査**、部活動では**秋季大会**や**新人戦**、３年生は**就職試験**も迫っています。１学期はコロナ禍や水害による休校で授業もなく、目標の**設定**や**達成**までのアプローチが難しかったと思います。しかし２学期は、なんと授業日数が**87日！**“**なんとなく**過ごす人”と“目標を持って**前向きに**過ごす人”では２学期が終わるころにはきっと**大きく差**がついているはずです。

先日作成した**中間考査の目標設定シート**をもう一度見返してみましょう！立てた目標に向かって**「前向き」**な努力はできているでしょうか？ 今日の努力は必ず**明日へ**繋がります。そしてその繰り返しこそが皆さんの**未来**を創っていくのです。今回は、目標達成のために**「前向き」**な努力を積み重ねている球磨工生を紹介します(^^♪

畑中　弘生　（はたなか　こうせい）君
電気科　1年生
陸上競技部所属

この人に注目！

謙虚な性格の奥底で燃えるは、陸上への熱き闘志！！

１学期の目標

	（何を達成するのか/具体的目標）	（目標達成のための具体策）
学習面	・期末考査で苦手な教科でも60点は取る ・分からない問題をそのままにしない	・考査前は苦手な教科を中心に3時間はする ・授業後や放課後に積極的に質問する
部活動	・チームの足を引っ張らない ★ ・けがをしない足づくり	・毎日走り込み、積極的に練習に取り組む ・練習後のケアを忘れず、特に足首を鍛える
その他（自由設定）	・校内検定でいつも合格する ・興味のある企業を3つ程決めておく	・週末に最低でも1時間以上は勉強する ・インターネットで調べたり、実際に働いてる人にきく

［↑『年間目標設定シート』の「(1)１学期の目標」］

「**3時間**」や「**特に足首**」など、目標を達成する方法が**具体的でわかりやすい**ですね！これは、あとで振り返った時に、目標を“達成できた”（あるいは“達成できなかった”）**理由を分析**することができ、次の目標設定に繋がります。

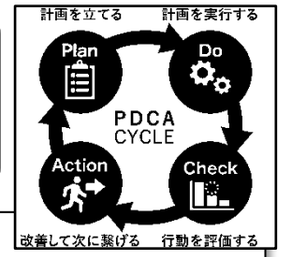
「**チームの足を引っ張らない**」という言葉からは、**畑中君にしか書けない**１年生らしさが伝わります。このまま努力を積み重ねられれば、１年後、２年後には、さらに高い目標設定ができるようになり、きっと**自己の変容**に気が付けるはずです！

１学期の振り返り

	（どんなことにどのように取り組んだか）	（取り組んだ結果どう変化したか）	（評価）
学習面	考査前の勉強時間は3時間程度だった。分からないところは友達に質問をした	苦手なところばかりしすぎて、分かっている問題を解けなかった。★ 質問したことで理解が深まった。	7 /10
部活動	休みの日でも長くて30km走り込んだ。練習後のケア、また補強を意識して練習した	前より足が締まり、長い距離も楽に走れた。足の痛みがほとんどなくなり、積極的に練習に参加できるようになった。	9 /10
その他（自由設定）	校内検定がなくても、前の復習などをした。先輩に聞いたり、企業について調べた	テストで問題が出たときに、スラスラ解けた。電気系だけでなく、機械系の会社についても理解が深まり、もっと調べてみたい	8 /10

［↑『年間目標設定シート』の「(2)１学期の振り返り」］

目標と**振り返り**がしっかり連動していますね！ また、**“できなかった”**ことについてもきちんと書かれていて、目標達成のための具体策に「改善(Action)」が必要だとわかり、次の目標へと繋がります！
これはＰＤＣＡサイクルにおける重要な部分なのです(^^♪



1学期を振り返ってみてどうでしたか？

休校が多く、学校で何かを学んだり身につけたりするにはあまりにも短かった学期だったように思います。電気科の専門分野の授業内容については、十分に理解が深まらず、部活動においても中学校の時と練習メニューが全く異なるなど、今振り返れば何もかもが戸惑いながらのスタートでした。

しかし、みんな同じスタート地点に立たされているわけで、苦しいのは僕だけではありません。そう考えると、「とにかくやるしかない！」と腹をくくろうと決意しました。休校が長いからこそ、具体的な目標と対策を練り、確実にそれらを遂行していこうと心がけました。明確な目標は、自分の大切な道しるべとなり、その記録は自分の軌跡となり、その積み重ねが自信へと繋がります。現在は部活動に並行して、電気工事士に挑戦中です！

1年生電気科 担任　田代　雅志　先生より

電気科1年生には、将来を見据えて行動することの大切さを伝えています。過去から学び（同じ失敗を繰り返さない）、未来に活かすことを目標としています。成長するための近道は、自己分析とｱｳﾄﾌﾟｯﾄ（ﾒﾓする習慣）です。ｷｬﾘｱﾊﾟｽﾎﾟｰﾄはその両方を同時に実現してくれるﾂｰﾙとして活用しています。

畑中君が文武両道で活躍している姿は他の生徒への良い刺激となっています。ｸﾗｽでも係の仕事や検定などに手を抜かず、よく頑張っていると感じます。一つ欲を言わせてもらえば、真面目さに加え、ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ（周りを巻き込む力）を発揮してくれると様々な面でさらに成長ができると期待しています。

陸上競技部長距離部門 顧問　三重野　哲平　先生より

自主練習量は1年生でトップレベル（走るなと言っても走る性格）。夏場の走り込みで、足首の故障からの回復も良好。これまでは練習の速さが大会に結びつかなかったが、ここにきて3000mの持ちタイムはチーム8番手（7番手と0.8秒差）。

高校駅伝（7区間）に向け、足りないのは「自信」だけ。速さではなく強さを求め、10月10日の最終選考に挑みます。